



気になる足の症状について知りましょう  
足のコブ、おやっ？と思ったら専門医へ

梅田血管外科クリニック  
院長／医学博士

古林圭一さん  
大阪医科大学卒業。大阪医科大学附属病院、大阪府三島救命救急センター、春秋会城山病院での勤務を経て、2013年9月、梅田血管外科クリニックを開業。日本循環器学会認定循環器専門医、日本外科学会認定外科専門医

自然に治ることはなく、そのまま放置していくと症状が進行することも。強いかゆみなどの皮膚炎、色素沈着などの炎症、潰瘍（かいよう）ができる場合もあります。「年だから」しがないと年齢のせいにして、放っておく人が多いです。しかし、そのまま放置しておらず、治療の病気であると知らずに放つておく人が多いです。そこで、そのまま放置しておらず、治療の病気であると知らずに放つておく人が多いです。

年齢のせいだとあきらめず  
「下肢静脈瘤」を正しく知ろう

足の静脈がぶくらんでも  
「瘤」のようになる。足が  
つる、むくむ、疲れやす  
い、皮膚が黒くなる、か  
ゆくなるなど、これらは  
「下肢静脈瘤」の症状の  
ひとつです。

「下肢静脈瘤」とは、  
足の静脈の弁が壊れ正常  
に機能しなくなること  
で、血液の逆流が起り、  
血液がたまつて静脈がコ  
ブのように膨らむ足の血  
管の病気です。

「長者」とは出典を  
どうぞ。

診察では、まず症状を  
話し、必要な場合はエコー  
ー検査（保険適用）を実  
施します。検査は、皮膚  
にゼリーを塗って血管を  
なぞるだけなので、痛み  
もなく受けることができます  
ですね。まずは専門医に相  
談して、正しく理解する  
ことから始めてください  
い」とアドバイス。

二つのよろは盛り上がりした足の血管やまくみ痛みなど  
の足の症状が気になることはありませんか。「下肢静脈瘤  
(かじょうよつみやくりゆう)」は、意外と知られていない足の  
血管の病気。「梅田血管外科クリニック」院長の古林圭一さ  
んに話を聞きました。



クリニック内は、清潔で落ち着いた雰囲気に（イメージ）

## 下肢静脈瘤 チェックリスト

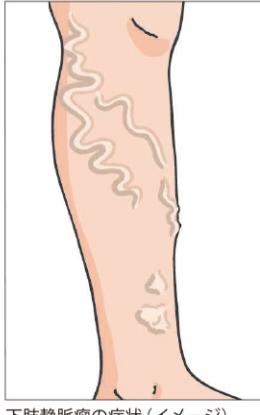
1つでもあてはまる項目がある人は、下肢静脈瘤の疑いがあります。自分の足をよく確認してみましょう。

- 夕方になると足がむくむ、痛い
  - 夜中によくこむらがえりがおきる
  - 日ごろから足が重くだるい状態が続いている
  - 足にかゆみや湿疹がある
  - 足の皮膚が硬くなってきた
  - 足の血管の青い色が目立ってきた
  - 足の皮膚が茶色っぽく、黒っぽくなってきた
  - くもの巣のように細かい血管が浮き出てきた
  - 足首、ふくらはぎ、太ももの内側の血管が浮き出て見える
  - 家族に下肢静脈瘤になった人がいる

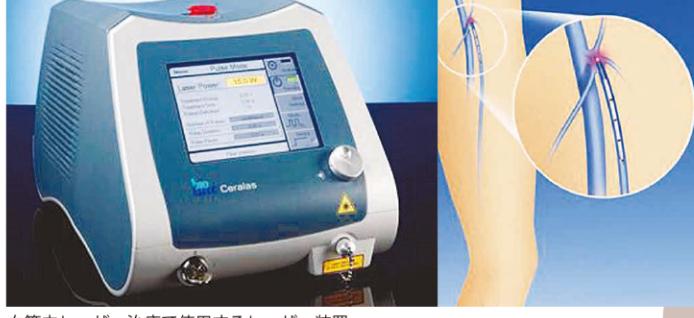
日帰りできる「血管内レーザー治療」  
保険適用のメリットも

日帰りできる「血管内」  
保険適用のメリットも

アクトエイブな毎日を  
は、9月9日（月）に開業する「梅田血管外科クリニック」院長の古林圭一先生です。クリニック内は落ちついた雰囲気で統一され、リラックスして話ができる空間新東交差点すぐ。クリー  
クス便利な梅田の「梅  
場所は、各線からのア  
となっています。



#### 下肢静脈瘤の症状(イメージ)



【診療科目】心臓血管外科、循環器内科  
【診療時間】午前診：午前9時～午後1時  
午後診：午後2時～5時

午後診：午後2時～5時  
【休診日】水曜午後・木曜・日曜・祝日  
※水曜の午前診のみ午前9時～正午

【住所】大阪市北区曾根崎2-1-12、国道ビル5階  
【駐車場】近隣に契約駐車場あり

【問い合わせ】電話受け付けは9時～

**☎06(6232)8601**  
<http://www.umeda-vyc.com/>

